2024（令和6）年度
第40期事業報告書

自　2024年4月　1日
至　2025年3月31日

公益財団法人　日中医学協会

はじめに

研究助成事業：

日中医学協会、日本財団、中国国家衛生健康委員会（中国保健省）の三者間で締結された「日中笹川医学協力プロジェクト第六次協定書」に基づき、第六次日中笹川医学奨学金制度の第1期生として、第45期研究者を招請しました。これにより、本制度第1期から第45期研究者の累計は延べ2,411名、受入機関は243機関、指導教官は1,670名、共同研究コースの日本側共同研究者は92名になりました。

また、2015年より実施している「日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト」においては、第9期研修を実施しました。本プロジェクトは、中国における「がんの早期発見・早期治療」を推進し、5年生存率などの向上に寄与することを目的としています。プロジェクト開始から10年が経過し、研修生派遣病院では、このプロジェクトを通じて日本式医療を取り入れ、中国におけるがん治療の拠点病院として面展開し、着実に成果を上げています。

学術会議開催事業：

中華医学会との共同で開催する学術シンポジウム「日中医学交流会議 2024 中国・長沙」が延期となり、「日中医学交流会議2025」として2025年9月に中国・山東省青島市で開催することが決定しました。本シンポジウムは「中華医学会感染症学術大会（年次総会）」の会期中に開催され、日本側座長・演者の手配など、開催に向けて準備を進めました。

医療協力事業：

笹川医学奨学金進修生同学会（笹川同学会）が中国国内で実施する（1）短期診療技術・技能研修、(2) 中長期診療技術・技能研修、(3) 日中共同フォーラム、(4) 地域医療支援活動、(5) 支部学術交流会の5事業は、その目的を通底させ、笹川同学会が当協会と共同で、日中両国専門家の講演と意見交換を通じて、政策提言を纏め、中国国家衛生健康委員会へ笹川同学会モデルとして報告することを目的としています。2024年度は、共同研究コース研究者による帰国後の成果報告会も開催され、当協会からこれらの事業に延べ21名の日本人専門家を派遣しました。

そのほか、中国側の要請に応じて、訪日団の視察先の手配や日本人専門家のオンラインシンポジウムへの派遣等も行いました。

広報事業：

機関誌『日中医学』Vol.39（電子ブック版）を発行しました。

中国国家衛生健康委員会主任であった馬暁偉氏が2024年5月に退任され、後任として雷海潮副主任が就任されました。雷海潮主任は、2024年12月に来日された折に当協会を表敬訪問され、小川会長、跡見理事長と面会しました。

当協会は、中国政府機関との長年にわたる友好関係を堅持しつつ、今後の事業拡大及び新たな枠組みの創出に向けて、引き続き積極的に取り組んでまいります。関係各位におかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

1. 当法人の現況に関する事項

1） 事業の経過及びその成果

2024 年度は、ア研究助成事業，イ学術会議開催事業，ウ医療協力事業，エ広報事業とも、ほぼ計画通りに実施できた。

詳細は附属明細書に記した。

重要な成果

(1) 日中笹川医学奨学金制度（1987 年より実施）

- 第六次制度の 1 期生となる第 45 期研究者を招請した。
- 「学位取得コース」で来日した奨学生 59 名のうち 38 名が日本の大学で博士学位を取得した。
- 「ポストドクターコース」「共同研究コース」の研究者も優れた業績を挙げ、日中両国の学術交流の促進と医療水準の向上に貢献している。

(2) 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト（2015 年より実施）

- 第 9 期研修を実施し、中国の 6 病院から消化器内視鏡医と病理医のペア計 12 名が、2025 年 1 月 22 日より 1 か月間、日本の 6 病院で研修を行った。
- プロジェクト開始から 10 年が経過した。研修生派遣病院では、このプロジェクトを通じて日本式医療を取り入れ、中国におけるがん治療の拠点病院として面展開し、成果を上げている。
- 第二次五カ年計画は 2025 年度の第 10 期研修をもって終了するが、本プロジェクトは日中両国で高い評価を受けており、中国側のカウンターパートである中国国家衛生健康委員会国際交流センター及びオリンパス（中国）との間で、2026 年度以降も継続実施することが合意されている。第三次プロジェクトの詳細については、今後協議を進めていく。

(3) 中国の学術会議等への日本人専門家派遣や訪日研修の手配など、日中間の医学・医療交流促進に関わる事業を積極的に推進した。

計画の未達

(1) 中国人医師・研究者招聘

① 腎臓内科医師育成プロジェクトの休止（受入機関の事情）

(2) 医療協力事業 6 分類の内、下記事業が計画の未達となった。

① 医療の国際化に係わる事業：生活習慣病（高血圧）の予防と治療に関する日本式医療の検討遅延

② 医療関連訪日団等招請事業：JST「さくらサイエンスプログラム」による招請事業の中止（応募の目的と仕組みを見直す為）

③ 会員訪中団派遣事業の中止（査証取得の煩雑さから企画を中止）

※2024 年 11 月 22 日に中国政府より、中国滞在 30 日以内の査証免除が公布された（査証免除は 2025 年 12 月 31 日まで)。

④ 北京華通国康公益基金会との 2024 年度訪日研修事業の延期

決算概要

会計別	予算額　円	決算額　円	達成　%
公益会計	243,489,000	200,104,145	82.2%
法人会計	6,552,090	5,799,248	88.5%

2） 資金調達等の状況

主な収益　①日本財団助成金　138,201 千円

②会費/事業収益/受取寄附金　28,097 千円

3） 直前 3 事業年度の財産及び損益の状況

単位:円

区　分	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
一般正味財産経常収益	105,924,379	188,131,250	356,144,710	195,524,482
同評価損益等調整前当期経常増減額	−11,495,891	−16,248,492	−16,810,855	−10,378,911
同当期経常増減額	−11,495,891	−16,248,492	−16,810,855	−10,378,911
同当期経常外増減額	−	−	−	−
指定正味財産増減額	−	−	−	−
正味財産期末残高	316,241,831	474,262,991	279,362,136	268,983,225

4） 主要な事業内容

事　業	主な事業の内容
研究助成	1．日中笹川医学奨学金制度（第六次制度） ① 第 45 期研究者（2024 年度招請） ・学位取得コース第 3 次助成 7 名 （日中医学協会助成，日本滞在中の者） ・共同研究コース 9 名 2024 年 9 月 4 日　共同研究者集会 ② 第 46 期研究者（2025 年度招請） ・募　集　2024 年 5 月 17 日～9 月 28 日 ・学位取得コースの選考 2024 年 10 月 12 日　日中合同面接（10 名合格）

	・ポストドクターコースの選考 2024 年 10 月 12 日　日中合同面接（7 名合格） ・共同研究コースの選考 2024 年 11 月 8 日　共同研究等選考委員会（9 チーム・3 名合格） ③ 第 47 期研究者（2026 年度招請） ・募　集　　2025 年 1 月 10 日～8 月 15 日 2. 第二次日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト ① 第 9 期研修 2025 年 1 月 22 日～2 月 20 日 中国 6 病院計 12 名（消化器内視鏡医・病理医ペア）
学術会議開催	1. 「日中医学交流会議 2025 青島」準備（中華医学会共催事業）
医療協力	1. 笹川医学奨学金進修生同学会（笹川同学会）事業 ① 短期診療技術・技能研修 ――腹腔鏡、内視鏡、高血圧予防治療、農村医師レベルアップ、消化器疾患、産婦人科 ② 中長期診療技術・技能研修 ――中医学、産婦人科、高血圧予防治療 ③ 日中笹川医学奨学金制度共同研究コース研究者成果報告会 ④ 日中ハイエンド医学フォーラム――2024 年大健康フォーラム ⑤ 地域医療支援活動 ――黒龍江省/中医診断治療、陝西省/胃がん早期診断治療、湖南省/腹腔鏡治療、日本/残留邦人健康相談 ⑥ 支部学術会議――華北地区等 5 地区、日本支部 2. 専門家派遣事業 ① 笹川同学会事業（笹川同学会要請に基づく派遣；延べ 14 名） ② 中国科学院主催「科学技術フロンティア・フォーラム」（1 名） ③ 中国主催「日中オンラインシンポジウム」（6 名） 3. 医療関連訪日団等の招請（5 件） 4. 中国国家衛生健康委員会雷海潮主任提案－中国医療者育成事業構想についての検討 5. 中国訪日団の表敬訪問への対応 ① 中国国家衛生健康委員会訪日団（雷海潮主任ほか 6 名）

	② 中華医学会代表団（李国勤副会長ほか 2 名） ③ 河北省保定市訪日団（党暁龍保定市共産党書記ほか 11 名 ④ 河北省保定市衛生健康委員会訪日団 （門惠沢保定市衛生健康委員会副主任ほか 6 名）
広　　報	1. 機関誌『日中医学』の電子ブック版の発行（第 39 巻 1～4 号） 2. ホームページからの情報発信（WEB コンテンツの充実） 3. メールマガジン『日中医学協会 News』の配信 4. 機関誌『日中医学』デジタル版のオープンアクセス化の検討

5） 会員に関する事項

種　類	当年期初	当年期末	増　減
名誉会員	8 名	8 名	100　%
個人会員	241 名	238 名	98　%
法人会員	57 社	52 社	91　%
特別会員	3 社	3 社	100　%

※　会員規程第 9 条第 2 項に基づき、2022 年度から 3 年間会費未納の者（法人を含む）は、2025 年 3 月 31 日をもって退会扱いとした。

6） 職員に関する事項

職名等	氏　名	就任年月日	担当事務	備　考
事務局長 事務局次長	岡田　光子	2022 年 7 月 1 日 2013 年 4 月 1 日	協会事業の管理･運営及び事務局事務の管理・運営全般	重要な使用人
事務局次長	末原　珠生	2023 年 7 月 1 日	事務局事務の管理・運営全般及び事務局長の補佐	重要な使用人
事務局統括 事務局参与 事務局長	本田　伸吾	2023 年 7 月 1 日 2022 年 7 月 1 日 2012 年 5 月 1 日	協会事業の管理･運営及び事務局事務の管理・運営全般	重要な使用人
嘱託職員	4　名		事務局事務	無期契約 3 名

7） 役員会等に関する事項

① 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2024.06.17	公益第 24 回定時評議員会（ZOOM WEB 会議） 決議事項 2023 年度計算書類（決算報告）の承認の件 評議員の辞任に伴う補欠選任の件 周年行事資金に関する規程の改定の件 報告事項 2023 年度事業報告の内容報告の件 2024 年度事業計画、収支予算の内容報告の件 北京華通国康公益基金会から事業提携の申出について 日本看護協会の法人会員（特別会員）退会の件	 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決

② 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2024.05.28	公益第 50 回理事会（ZOOM WEB 会議） 決議事項 2023 年度事業報告の件 2023 年度決算報告の件 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦の件 周年行事資金に関する規程の改定案の件 公益第 24 回評議員会（定時）の招集の件 報告事項 代表理事、業務執行理事等の 2024 年度職務執行状況の報告 釜菏敏氏の第 27 回参議院議員通常選挙の推薦について 「日中医学交流会議 2024 中国」の開催時期について	 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決
2024.08.14	公益第 51 回理事会（決議の省略） 決議事項 副会長の辞任に伴う補欠選任の件	 全員同意・異議なし
2024.12.11	公益第 52 回理事会（対面会議） 決議事項 法人会計の現金預金及び事業基盤整備資金の一部を公益目的事業会計へ寄附することについて 報告事項 代表理事、業務執行理事等の 2024 年 4 月～11 月職務執行状況の報告	 全員一致可決

2024.12.11 （続き）	日本財団助成金「基盤整備費」の拡充について 日中笹川医学奨学金制度第 46 期研究者の選考結果について 「日中医学交流会議 2025」の開催について	
2025.03.12	公益第 53 回理事会（ZOOM WEB 会議） 決議事項 2025 年度事業計画（案）の件 2025 年度収支予算（案）の件 2025 年度役員賠償責任保険契約更新の件 報告事項 役員等改選手続きについて	 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決

8） 許可、認可、承認等に関する事項

申請年月日	申請事項	認定年月日	備　考
該当事項なし			

9） 対処すべき課題

1　第六次日中笹川医学奨学金制度協定書に基づき、第 2 期生となる第 46 期研究者の募集と選考を行い、学位取得コースは 10 名（11 名応募)、ポストドクターコース 7 名（7 名応募)、共同研究コース 9 チーム及び個人 3 名（14 チーム及び個人 11 名応募）の合格者を確定した。応募者数増加策が急がれる。

2　医療の国際化に係わる事業について、日本式医療の中国における拠点化に向けた事業推進が求められる。

3　COVID-19 の影響を受け、パンデミック前と比較して 2020～2023 年度において収支が悪化し、2024 年度末には運転資金が不足状態になっている。財務健全化策の迅速な実施が求められる。

対処方針

1　中国国家衛生健康委員会に対し、応募者数増加策を要請し、応募の促進と優秀な人材の確保につなげていく。

2　2025 年度には「第二次日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト」第 10 期研修を実施し、2026 年度に第三次プロジェクトの開始を予定している。研修生派遣病院を中国における拠点病院として位置づけ、日本式医療の定着と拡充を図る。また、当協会が展開するその他の医療国際化事業の推進及び拡大に向けて、新たな中国側カウンターパートの発掘にも継続的に取り組む。

3　2025 年度の理事会において当面策(公益第 52 回理事会第 1 号議案)を実施し、併せて会議体を設置して「中長期ビジョン計画」を策定する。

2. 役員等に関する事項

(1) 理事

役職名	氏　名	任　期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
会長	小川　秀興	2025.03.31	非常勤	48 千円	学校法人順天堂 理事長
理事長	跡見　　裕	〃	〃	48 千円	学校法人跡見学園 理事長
副会長・理事	安達　　勇	〃	〃	53 千円	
業務執行理事	新井　　一	〃	〃	58 千円	
	尾身　　茂	〃	〃	58 千円	(公財)結核予防会理事長
	春日　雅人	〃	〃	39 千円	
	日比　紀文	〃	〃	22 千円	
理事	角田　　徹	〃	〃	24 千円	
	加藤　照和	〃	〃	24 千円	(株)ツムラ 代表取締役社長 CEO
	國土　典宏	〃	〃	12 千円	国立健康危機管理研究機構 理事長
	髙折　晃史	〃	〃	－	
	手代木　功	〃	〃	12 千円	塩野義製薬(株) 代表取締役会長兼社長 CEO
	永田　良一	〃	〃	36 千円	(株)新日本科学 代表取締役会長兼社長 CEO
	林﨑　良英	〃	〃	36 千円	(株)ダナフォーム 代表取締役
	眞鍋　　淳	〃	〃	24 千円	第一三共(株) 代表取締役会長兼 CEO
	宮島　俊彦	〃	〃	24 千円	日本製薬団体連合会 理事長
	山下　俊一	〃	〃	24 千円	

注) 報酬等は常任理事会・理事会・評議員会の出席手当

(2) 監事

役職名	氏　名	任　期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
監事	三宅　養三	2025.03.31	非常勤	75 千円	
	金井　正義	〃	〃	75 千円	

注) 報酬等は監事監査・常任理事会・理事会・評議員会の出席手当

(3) 評議員

役職名	氏　名	任　期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
評議員	一戸　達也	2025.03.31	非常勤	12 千円	
	稲垣　暢也	〃	〃	12 千円	(公財)田附興風会医学研究所北野病院理事長
	今村　英仁	〃	〃	12 千円	
	上坂　克彦	〃	〃	－	

評議員 （続き）	大友　克之	〃	〃	12 千円	
	緒方　　剛	〃	〃	－	
	緒方　晴彦	〃	〃	－	
	小林　百代	〃	〃	－	
	末瀬　一彦	〃	〃	12 千円	
	杉山　　清	〃	〃	12 千円	
	高木　俊明	〃	〃	－	テルモ(株) 代表取締役会長
	高橋　和久	〃	〃	12 千円	
	髙松　　研	〃	〃	12 千円	
	田平　　武	〃	〃	12 千円	
	寺本　　明	〃	〃	12 千円	
	根本　則道	〃	〃	－	
	松本　謙一	〃	〃	－	サクラグローバルホールディング(株) 代表取締役会長
	山田　陽城	〃	〃	12 千円	
辞任評議員	山口　　建	2024.04.01	〃	－	

注）報酬等は評議員会の出席手当

(4)　役員等の報酬等（退任、辞任含む）

区　分	人　数	報酬等の総額	備　考
理事	17 名	542 千円	
監事	2 名	150 千円	
評議員	19 名	132 千円	辞任 1 名

3.　業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議の内容の概要

第 48 回理事会（2023.12.13）で電子帳簿保存法改正への対応として制定した、①電子取引データ訂正及び削除の防止に関する事務処理規程、②スキャナによる電子化保存規程に則り、電子帳票管理システムを導入した。

また、2025 年 4 月からの新公益法人制度への準備を行った。

以上

２０２４年度事業報告書
公益財団法人日中医学協会
ＴＥＬ　０３－５８２９－９１２３
ＦＡＸ　０３－３８６６－９０８０
発行日２０２５年５月２０日
発行人　　跡見　裕
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-4-3
住泉ＫＭビル６階